

議会報告会実施報告書

開催日時	平成22年11月21日(日) 13時30分～15時22分		
開催場所	加茂保健センター 健康相談室		
出席議員	班代表者 (=司会者)	山本	
	報告者	曾我	
	記録者	出栗	
	班員 (上記以外)	酒井・伊藤・片岡・中野・尾崎・大西 (欠席：倉)	
一般参加者	7人		
質疑応答 の概要	<p>Q) ①学研都市開発公社における先行取得用地の処分について、行政ではどうにもならない状態になったものを、議会が肩を押すのも大切な仕事。業者を利するだけというのは、別の根拠をお持ちか。</p> <p>②インターネットで議事録が公開される中、議会の品格を問われるような内容については、忠告・是正をすることはできないのか。議会において、議長が議員に忠告・是正を求める権限を付与すべきである。</p> <p>③政治倫理条例について、例えば議員の不祥事があった場合は、捜査・裁判の結果により判断するのか、あるいは議会独自の基準で対処するのか。政治倫理条例は、今後の問題としてどうされるのか。</p> <p>A) ①1つは学研都市公社を存続するかどうか、もう1つは木津川市が持っている土地をどうするかという、2つの問題点の指摘である。公社の存続についての議案は出ていない。市保有の土地を売るのが良いか、活用していくのが良いか、今その判断はできないと思う。</p> <p>②インターネット配信は、情報公開、市民に開かれた議会という趣旨で行っている。皆さんが選んだ人の意見として聞き、それを訂正する等の権限はない。</p> <p>③・議会基本条例では、「高い倫理性を持って、代表として努める」や「自己の地位を利用して不正な行為をしてはならない」として定めている。議会と平行して行政側でも倫理条例を制定していく。</p> <p>・政治倫理条例策定特別委員会を作り、12月議会で審議する方向で進めている。議会独自の判断基準を備える。市民・議員からも問題提起ができ、受けていく構えである。今はまだ完成していないので、今後も議員間で検討していく。</p> <p>Q) ①今回の議会報告会の開催は、分からなかった。議会だより以外に、ホームページには記載されているのか。議会報告会に若い世代も来てもらえる工夫など、どのように考えているのか。また、議会だよりの内容はかなり断片的であり、ホームページで全部公開されているのか。行政との議論の内容、要望について等、市民が一番関心がある。</p>		

質 疑 応 答
の 概 要

②議会基本条例の策定について、何故この時期にするのか。4月の選挙後にじっくり検討する方が良かったのではないか。条文については、「別に定める」ではなく、ある程度きっちり書くべきではないか。

A) ①議会だよりは、予算・紙面の関係上、ある程度要約しないとけない。ライブ中継、録画配信もあるので活用していただきたい。今回の報告会開催は、ホームページに掲載している。

②基本条例の制定時期は、今の時期が最適。この4年間の任期中の経験を踏まえ制定し、次の議員に引き継いで実行してもらおう。新人議員も、再選された者も含めて勉強会を行い、不断に改訂していく。また、「別に定める」ものは条例のレベルではなく、要綱レベルである。内容は公開し、細かいものはその都度変更していく。

Q) 市民の活動拠点を作って、意見を言える場を設けて欲しい。「市民との意見交換の場を多様に設け」とあるが、具体的にどのようなことを考えているのか。この点からも、議員定数削減の問題が議員の中から出ているが、議員の数がいないことには、住民の意見も伝わりにくいと懸念する。

A) ・伊賀市は地区と共催している。そういう形になれば、地域の意見が反映されやすくなる。議会基本条例は、一議員としてではなく、議会の固まりとして行動することになっている。議員定数が削減されたとしても、やり方によってカバーできる。

・地域長等を通じて、議会に意見を届けてもらう。若い人への呼びかけについては考えているが、その方法についても意見を言って欲しい。

Q) ①今夏の高齢者の行方不明の問題について、議会では誰からも質問がない。どのように理解されているのか。

②昨年3月に作られた行政地域制度は、全然意味が分からない。市にチェック機能がなく、議会での質問もない。地域制度の活用についてどう考えているか。

A) ①高齢者の問題は、木津川市においては該当ない。

②地域制度の問題は、昨日の会場でも質問があり、総務委員会でフォローすると言った。附帯決議を付けているので、その結果を市民に知らせる。

Q) 木津川市で起こった介護疲れによる殺人事件の例からも、議員は、法律・制度を十分理解した上で、行政に対して質問すること。行政に足元を見られているのではないか。

A) 近所の見守りネットワークを構築するなど、行政・地域などの広い協力が必要。議員の資質向上については、深く受け止める。

Q) ①議会だよりでは、例えば21年度決算監査報告は、市民はどれだけ理解できるのか。何らかの形で解説して欲しい。主な質疑についても説明不足である。議員の積極的なアピールを望む。

②上水道料金が地域によって違うのは本当か。木津川市は府内で

<p>質疑応答 の概要</p>	<p>も高いと聞いている。収納率が下がる原因があれば議論していただきたい。</p> <p>A) ①この文言では分かりづらい。書き方の検討をする。要約しすぎている。編集上のチェックミスもある。</p> <p>②水道料金については、旧加茂・旧木津・旧山城で統一されていない。行政より試案を出ている。詳細については書面で回答する。府営水道は、3水系によって料金が異なる。</p> <p>Q) 議会において、「〇〇部の〇〇です。〇〇議員の質問にお答えします。」という、この発言は必要か。言い回しが丁寧すぎる。習慣なら止めて欲しい。</p> <p>A) ご意見として聞いておく。</p> <p>Q) アンケートの回収率が3.6%とかなり低い。何も変わらない、という人がほとんどではないか。議員報酬は高いとの回答が60%であるが、35万円で本当に生活できるのか。生産性を考えれば、議員報酬を高くしてでも、専従で活動してもらおう方がいいのではないか。</p> <p>A) 議員報酬に関しては、合併時に近隣を参考にした。一番低い水準である。若い方が議員を職として出ていただきたい思いがあるが、報酬については、いろんな考えがある。</p> <p>A) いろいろな意見を聞かせていただき良かった。個人的に言えば、府営水については、地区によって差があるのはおかしいが、様々な経過がある。事業仕分けについては、議員間でも意見が分かれる。事業仕分けの手法は、乱暴な面があり、議員同士の十分な討論が必要と考える。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成22年12月9日

木津川市議会議長 中野重高様

第3班代表者 山本喜章